

優秀

思いやりの「心」

相模原中等教育学校

1年

中井瑛利香

「福祉といえど」ということを周りの人にインタビュース、インターネットや国語辞典で調べました。そして、私も人に聞いたり調べたりする前に、「福祉」という言葉から頭に浮かぶものを考えました。

このとき、私は介護施設や障害者、生活が不自由な人への配慮が浮かびました。そのあと「福祉」の本当の意味を調べたところ、国語辞典には「多くの人々の幸せ。幸福。」と書いてあり、インターネットでも「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉だ、とありました。私にとってこの説明は理解しやすく、さらに深く納得しました。「福祉」とは地球上の全ての人に関係し、障害や年齢などに関わらず全ての人がいるいろいろな「幸せ」になることなのです。そこで私は、家の中や通学中などの身の回りの「福祉」を探してみました。

私が駅で見つけたことは「音声案内」や「壁にある点字」、「地面にある点字ブロック」、「階段の隣にあるスロープ」です。他にも道路ではノンステップバスがあり、家の中にも手すりがあるなど、身の回りの「福祉」はたくさんあることが分かりました。そして私は「ユニバーサルデザイン」に注目しました。

まず、意味を調べました。「ユニバーサル」の意味は「すべてに共通の」、「普遍的な」とあり、「ユニバーサルデザイン」を日本語にすると、「すべての人のためのデザイン」、「みんなにやさしいデ

ザイン」となるそうです。もう少し詳しくすると「年齢や体の不自由さなどに関係なく誰もが無理なく使えるようにデザインすること。また、そのようなデザイン」という意味です。さらに、形あるものだけをさしているのではなく「心のユニバーサルデザイン」という言葉があります。ユニバーサルデザインには多くの意味がこめられています。そして「バリアフリー」という言葉もありますが、これは特定の誰かのためということで、バリアを見つけ、それを取り除くような取り組みをするのに対し、ユニバーサルデザインは多くの人が使いやすいデザインを初めから考えることなのです。

私はユニバーサルデザインの中でも特に「心」のユニバーサルデザインについて注目しました。まず、調べていくうちに「思いやり」と似ていると考えました。これは普通のユニバーサルデザインと同じです。私のもっとみんなに思いやりのある行動をしてほしい、と思っています。例えば、歩いていると自転車が点字ブロックの上止めてあるのを見かけます。この様子はもちろん、目の不自由な人にとって邪魔で困りますが、車いすを使っている人にとっても道に自転車が止めてあるのはとても迷惑です。

このように、ある人達には思いやりの「心」が足りてないと思います。自分のことも大切ですが誰もが困らないように考えて「すべての人のため」、「みんなにやさしい」行動をして欲しいです。